

「転倒予測 Ai システムの現状把握と活用方法の検討」に関する研究について

1. 研究の対象

5階西病棟に2023年8月～11月に入院していた方のうち、転倒・転落事故が発生した患者さん

2. 研究目的・方法

転倒・転落は、病院内で起こる事故の中でも頻度の高いものです。発生要因は様々ですが、骨折などを引き起こす可能性もあり、患者さんの入院期間の延長や医療スタッフの負担増加につながると言われています。当院では転倒・転落予防のために、独自のアセスメントシートに加え、2023年8月に Coroban®（コロバン：電子カルテ内の看護記録を AI で解析して転倒・転落のリスクを算出し、アラートを発信するシステム）が導入されました。

本研究では実際に転倒・転落が発生した事例の Coroban® を電子カルテから振り返り、システムをより有効に活用できる方法を検討します。

研究期間は病院長許可日から2024年10月31日までです。

研究方法：

- ①対象期間内に転倒・転落した患者さんの Coroban® チャートを振り返り、前日と当日のアラート値を比較する
- ②年齢、性別、発生時間帯など分析する

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、Coroban® が算出したアラート値 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 磐田市立総合病院 5階西病棟 長谷川瑠理

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話：0538-38-5000（代表）